



学校長あいさつ

誉田中学校は、1947年の創立以来、今年で78年目を迎える羽曳野市で最も歴史のある中学校です。学校のすぐ西側は、百舌鳥・古市古墳群の代表でもある誉田山御廟古墳（応神天皇陵）と接し、その間には歴史ある東高野街道が通ります。また、校区内には日本最古の街道である竹ノ内街道もあり、悠久の歴史を感じることができる中学校です。

誉田中学校では、「自主自律」の校訓のもと、人と人との心の絆の大切さを学ぶ学校として、ここ20年間、「集団づくり」を柱として学校教育活動を展開してきました。その結果、本校を卒業した方々が、多く保護者として、現在の誉田中学校を支えていただいています。悠久の歴史の中で紡いできた心の絆が、現在の誉田中学校の原動力です。

誉田中学校では、生徒や教職員など学校で生活するすべての人々を「チーム誉田」と呼んでいます。学校は、一人ひとりを大切にするとともに、チームとして活動することが大切であると思います。一人が力を発揮しても一人の力にしかありません。しかし、一人が二人、二人が四人と、それぞれの立場の多くの人々が、さまざまな視点で物事を捉え、意見を交わし合いながら、同じゴールに向かってともに歩むことで、何十倍、何百倍の力となって、大きな流れを作ることができます。「チーム誉田」は、これまでもそうして学校づくりをしてきました。「学校は子どもたちのためにある」「学校はチームで動く」「学校は学び続ける」を3本柱に、「人と命と意思を大切にする人間を育てる」ことを目標にして、これからも「チーム誉田」は歩み続けます。

地域の方々、保護者の方々をはじめ、誉田中学校を支えていただいている、すべての方々に心より感謝いたします。これからも「チーム誉田」をよろしくお願いします。

令和6年 4月 1日
校長 松村 章生



誉田中学校エンブレム

歴史街道の「竹ノ内街道」「東高野街道」の交差しているところに応神天皇陵がデザインされています。



誉田中学校公式
キャラクター

チュンタ



誉田中学校公式
キャラクター

ピート